

HTLV-1感染対策事業実施状況

医療政策室
子ども子育て支援課

1

岩手県におけるHTLV-1感染対策について

現状と取組み

(1) 当県のHTLV-1陽性者の状況

- ア 全県における陽性者の把握方法としては、妊婦健康診査における数値を参考。
妊婦健康診査における陽性者は平成24年度21名(0.23%)、25年度19名(0.19%)となっている。
献血(初回献血者)は、平成21～23年度の年間平均者数は、12名となっていた。
- イ 平成元年度「岩手県におけるHTLV-1の母子感染調査について」(参照:参考資料2)の研究結果、妊婦1,602名中31(1.9%)の陽性が確認されている。
- ウ 三陸の太平洋沿岸地域は、陽性者が多い地区となっている。

(2) 妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査実施状況(平成21年度～)

本県では、平成21年度より全市町村で実施。(健診第1回目:妊娠初期検査に含まれる)

(3) 岩手県HTLV-1感染対策協議会設置(平成23年度～)

設 置:平成24年3月21日
主な協議内容:キャリア等への医療体制、相談体制の構築、事業実施計画等

(4) HTLV-1感染予防対策医療従事者等研修会(平成24年度～)

- 対 象:医師、保健所、助産師、看護師等
- ◆第1回:平成24年 9月22日(土) 内容:講演(基礎編、上級編)HTLV-1の基礎知識等
 - ◆第2回:平成25年 9月21日(土) 内容:報告及び講演(疾患別編)「HAMの基礎知識」等
 - ◆第3回:平成26年10月25日(土) 内容:報告及び講演「HTLV-1の基礎知識」「ATLの皮膚病変について」

(5) 医療・相談支援体制の構築(目指す姿)

岩手医科大学附属病院(血液・腫瘍内科)キャリア外来、盛岡赤十字・県立病院キャリア外来、がん相談支援センター、難病連、市町村、保健所等)

(6) 保健所における抗体検査について(平成26年度から開始)

(7) 普及啓発

保健・医療従事者への普及啓発を実施(研修会の開催、会議等での周知)
県民に対する普及啓発を実施(県ホームページへの掲載)

2

○産科医療機関におけるHTLV-1抗体検査の実施状況について

	平成24年度	平成25年度
健診初回受診者(人)	9,188	9,853
陽性者数 (人)	21 (判定保留2名含む)	19 (判定保留1名含む)
陽性率 (%)	0.23	0.19



(H26.6子ども子育て支援課調べ)

平成25年度、県産婦人科医会のご協力のもと、県内38産科医療機関へ郵送でアンケート調査を実施。

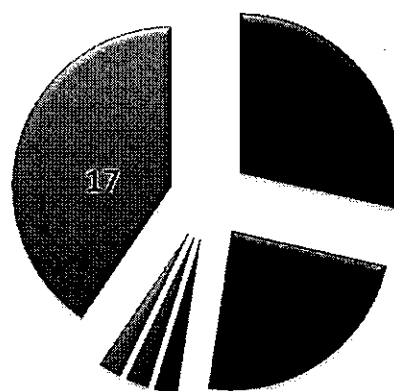
【調査期間】 平成26年5月1日～30日

【回収率】 100%

【調査内容】 陽性者及び判定不能者の人数・住所地・栄養方法の選択

5

①「陽性」又は「判定保留」と判明した妊婦に対し、どのように対応されていますか？



(複数回答、単位:ヶ所数)

- 協力病院等へ紹介
- 当院で経過観察
- 市町村・保健所紹介
- 相談窓口等情報提供
- 家族等抗体検査実施
- 未受診
- その他
- 未回答

【協力病院紹介先】岩手医科大学附属病院、県立中央病院、盛岡赤十字病院
県立中部病院、東北大学病院

6

②「陽性」又は「判定保留」と判明した妊婦に対し、分娩の対応をしていますか？

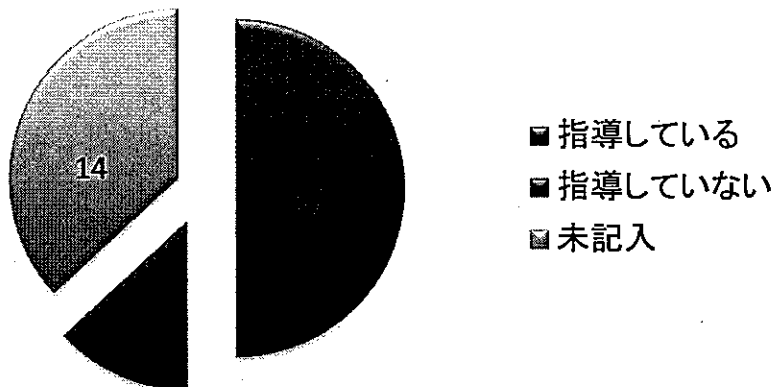


(単位:ヶ所数)

【対応していない理由】・大学病院に紹介 ・陽性例がない
・分娩を取り扱っていない

7

③「陽性」又は「判定保留」と判明した妊婦から出生した(する)児の感染予防対策指導を行っていますか？



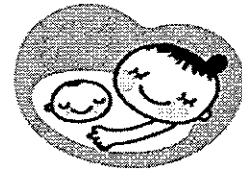
【指導していない理由】 ・転医先へ依頼 ・該当者がいない
・母乳を止める内服

【指導している主な内容】 ・栄養方法を本人が選択し、希望にあわせ指導
・人工栄養のみ指導

8

【自由記載】

- 「陽性」「判定保留」はまだ経験していない。指導やコミュニケーションがスムーズにいかかわからない面がある。トラブルの実例や問題点があればご教示いただきたい。
- 当院から照会する協力病院が遠方のため、近隣の県立病院でも協力病院となっていたきたい。
- 退院後も簡易的に母乳栄養継続できる方法があれば良いと思う。
- 現在、陽性者はいないが、今後陽性者の対応がある場合は、人工栄養のみ指導予定。

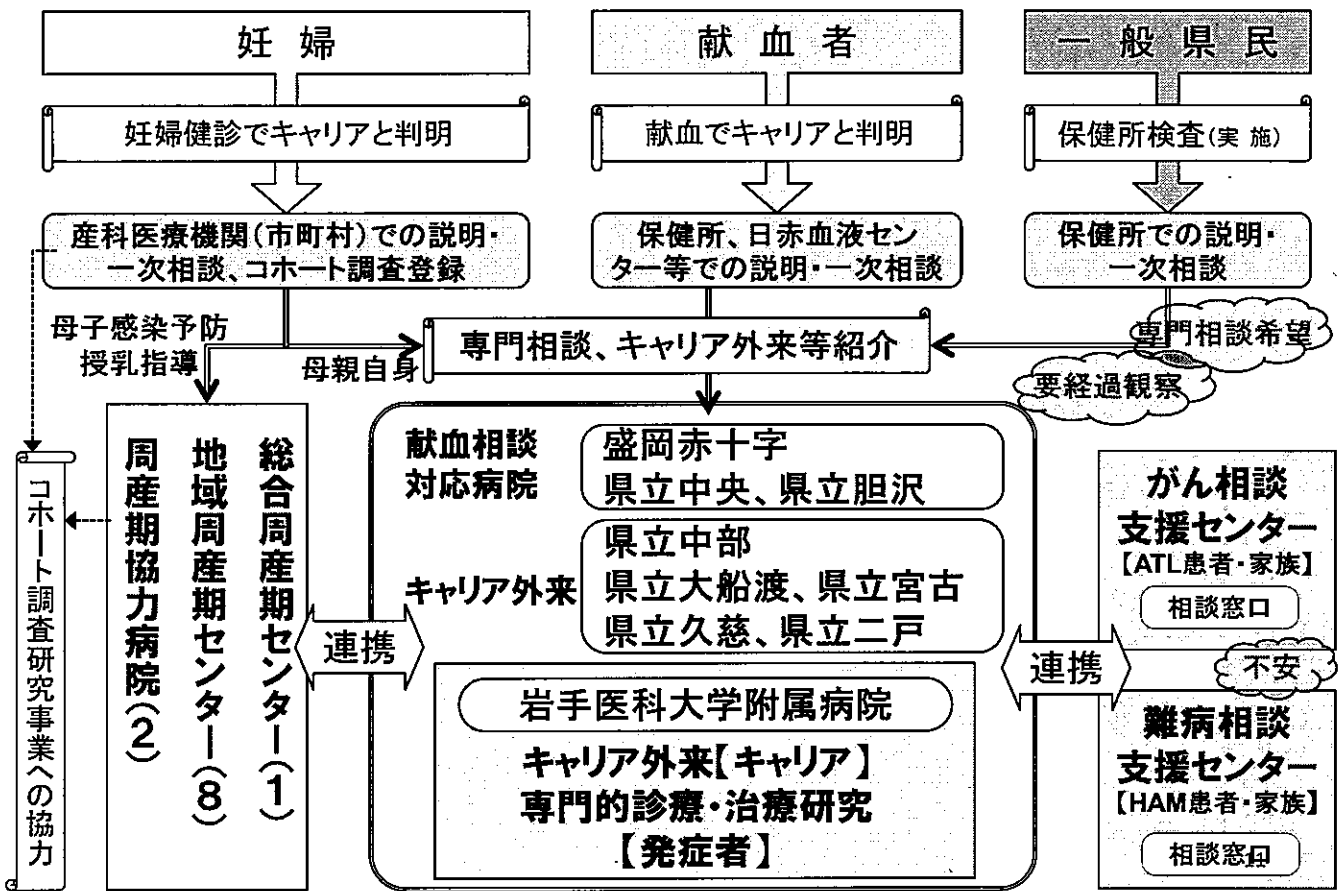


9

HTLV-1感染予防対策医療従事者研修会開催状況

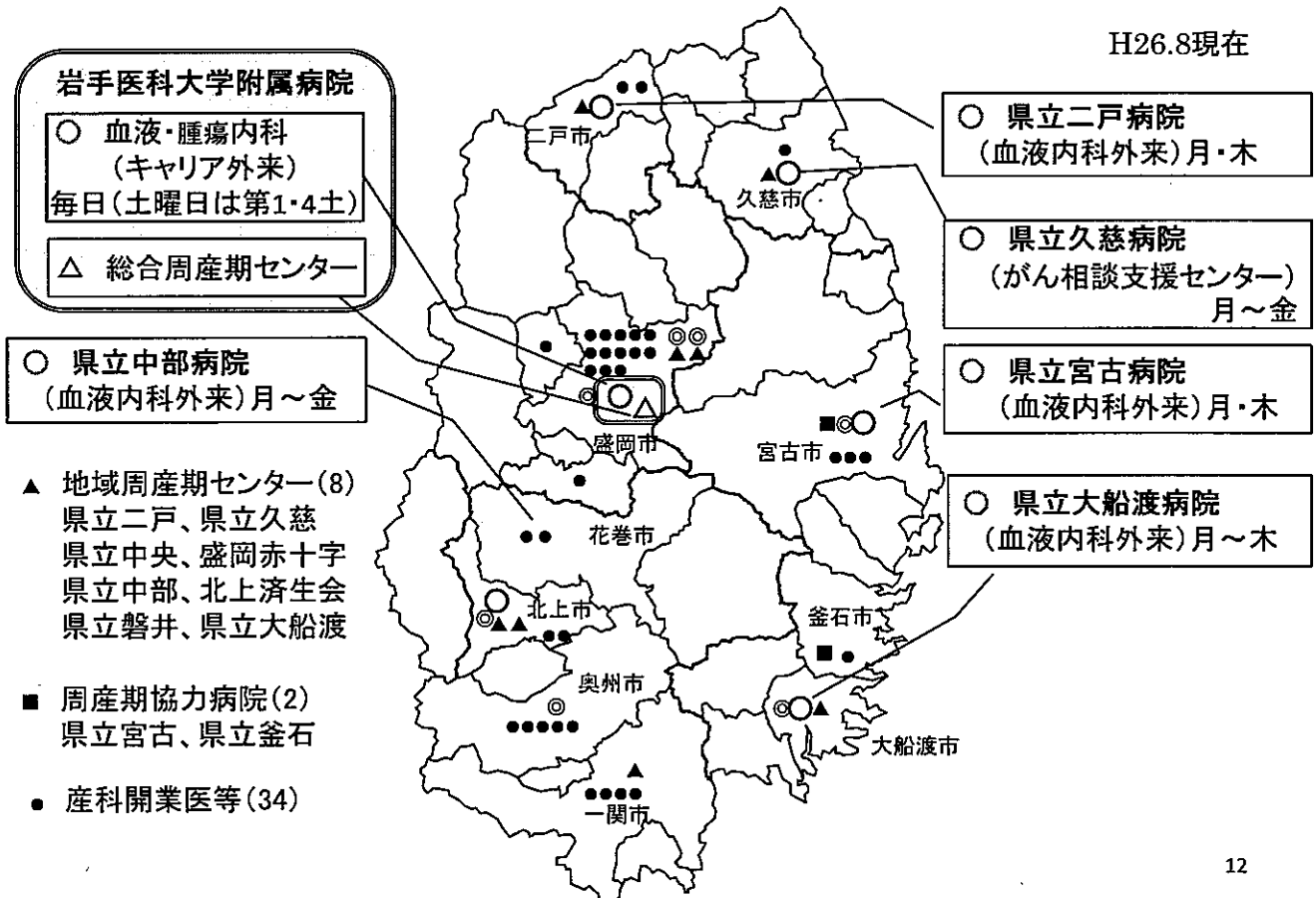
- 目的: HTLV-1感染予防に携わる医療従事者が、岩手県における課題と対策の方向性を情報共有し、自ら取り組むべき役割を認識することにより、感染予防対策やキャリアへの相談支援体制の充実を図る。
- 主催: 岩手県
- 後援: 岩手県医師会、岩手医科大学附属病院
- 日程等: 平成25年9月21日(土) 13:00～16:40
- 対象者: 医療従事者
- 参加者数: 51名(医師11名、保健師14名、助産師6名、看護師3名、家族3名、その他)
- 内容等: 【報告】
「岩手県における医療と行政が連携したHTLV-1対策について」
説明者: 岩手県保健福祉部 医療政策室感染症担当
- 【講演】
「HTLV-1関連脊髄症(HAM)の基礎知識と岩手県における現状について」
講師: 岩手医科大学 内科学講座神経内科・老年科分野
准教授 米澤 久司 先生
- 【特別講演】
「HTLV-1関連脊髄症(HAM)について」
講師: 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター
病因・病態解析部門 部門長/准教授 山野 嘉久 先生

HTLV-1キャリア等への医療・相談支援体制（目指す姿）



HTLV-1キャリアに関わる医療機関の分布図

H26.8現在



保健所におけるHTLV-1抗体検査の実施について

○特定感染症検査事業

・平成23年度から、特定感染症検査事業において、HTLV-1抗体検査を国庫補助の対象項目として追加した。

◆性感染症(性器クラミジア感染症、性器ヘルペス感染性、尖圭コンジローマ、梅毒、淋病感染症の5疾患)に関する検査及び相談事業

◆HTLV-1に関する検査及び相談事業

◆HIV抗体検査及び後天性免疫不全症候群に関する相談事業

◆HBs抗体検査、HCV抗体検査及び肝炎ウイルスに関する相談事業

→検討を重ね、平成26年度より、県保健所においてHTLV-1抗体検査を開始市町村及び各医療機関に周知。

保健師等による相談を実施し、必要に応じ抗体検査を実施する体制確保。

13

相談受理状況①

○25年度実績

1 市町村・保健所

(1)相談件数(平成26年4月:県内各市町村母子保健担当課および各保健所へアンケート調査実施)

	相談件数(実/延)	再掲(ATL, MAM)
市町村(33ヶ所)	1 / 1	(ATL: 0件、HAM: 0件)
保健所(9ヶ所)	1 / 1	(ATL: 0件、HAM: 0件)

(2)相談手段

電話

(3)相談対応者(職種)

保健師

(4)主な相談内容

- ・妊娠中にHTLV-1抗体検査を受け、(-)だったが、先日テレビのニュースで何十年か後に発症することがあるということを知り、検査で一度(-)でも、その後に(+)になるのか心配になった。
- ・献血でキャリアと判明。結果通知に保健所が相談先とあったため電話した。専門の医療機関を知りたい。

(5)今後の相談体制の要望等(自由記載)

- ・潜在的な課題であることから、研修テーマに組込むことやリーフレット作成などで支援体制の情報提供をいただきたい。
- ・HTLV-1に関する情報や知識不足のため、今後もし相談があった際に不安に思う。
- ・相談を受ける支援者に対しての情報伝達等の研修会があると良い。
- ・相談があった先の具体的な支援について知りたい。

14

【参考】市町村・保健所母子保健担当者会議

3. HTLV-1 (ヒトT細胞白血病ウイルス1型) 母子感染対策について

- 国においては、平成25年度にHTLV-1総合対策(平成22年12月20日付衛発1220第号・衛発第1220第1号)が取りまとめられ、平成23年度より母子医療医療対策等総合支援事業の「生涯を通じて女性の健康支援事業」の一部として、「HTLV-1母子感染対策事業」を実施することとした。
- 本県においては、平成28年度に「岩手県HTLV-1母子感染対策協議会」を設置(平成28年度に「HTLV-1感染対策協議会」に改稱)し、現状や、キャリアに対する医療・相談体制の整備等について検討を行っている。(資料あり)
- 妊婦検診室におけるHTLV-1抗体検査陽性率(産前保留含む)については、平成29年度以降、毎年度、県産婦人科医師の協力を得て、産科医療機関全てアンケート調査を実施し把握しているところである。
- 保健所では、国で示している「HTLV-1総合対策」に基づき、キャリアに対する相談指導の実施が求められており、今年度より各保健所においてHTLV-1抗体検査を実施することとした。(担当:医療政策室)
- 市町村では、妊婦検診室においてHTLV-1抗体検査を実施していることから、感染症患者のキャリアに対する相談対応が求められる。
- 市町村、保健所における相談技術の向上を図るため、平成24年度より医療従事者等研修会を開催しているが、今年度はHTLV-1に関する基礎知識及び成人T細胞白血病(ATL)の成病病態について研究会の開催を予定(時期:10月)で調整中、本庁医療政策室と共有している。

【国のHTLV-1総合対策における重点施策】

- 感染予防対策の充実
 - 全国的な妊婦のHTLV-1抗体検査と、保健指導の実施体制の整備(※本県では、平成21年度から導入)
 - 保健所におけるHTLV-1抗体検査と、相談指導の実施体制の整備(※本県では、平成26年度から導入)
- 相談支援(カウンセリング)
 - HTLV-1キャリアやATL、HAM患者に対する相談体制の整備
- 医療体制の整備
 - 普及啓発、情報提供
 - 住民への正しい知識の普及
 - 医療従事者や相談担当者に、研修等を通じて正しい知識を普及

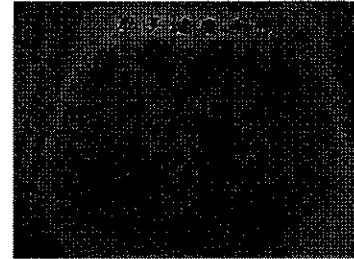
市町村への依頼事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 妊婦検診室におけるHTLV-1抗体検査結果については、産科医療機関において、母子健康手帳に結果が記載されることから、各種健診や訪問指導等での確認及び相談が望ましい。 ○ キャリア等への相談対応。
保健所への	○ キャリア等への相談対応。

○子ども子育て支援課主催で開催。(毎年度)平成24年度以降、事業について周知。

【平成26年度開催状況】

日時：5月29日(木)13:30~15:30
場所：県水産会館
出席者数：市町村51名、保健所16名

●岩手型母子健康手帳
P10(検査の記録)HTLV-1抗体検査結果記入



15

相談受理状況②

2 岩手県難病相談・支援センター

◆平成25年度 相談事業実績(疾患別:HAMに関する相談)

相談件数: 35 件 (内訳:患者 29件、その他5件、メール相談1件)

主な相談内容:日常生活の注意点、医療、難病団体に関すること、関係機関からの相談

◆患者会

アトムの子岩手支部(設立:平成15年12月20日)
会員数 4名

(※平成25年1月 NPO法人「スマイルリボン」へ名称変更(全国)。

HAM患者会、ATL患者会、キャリアママの会統合)



16

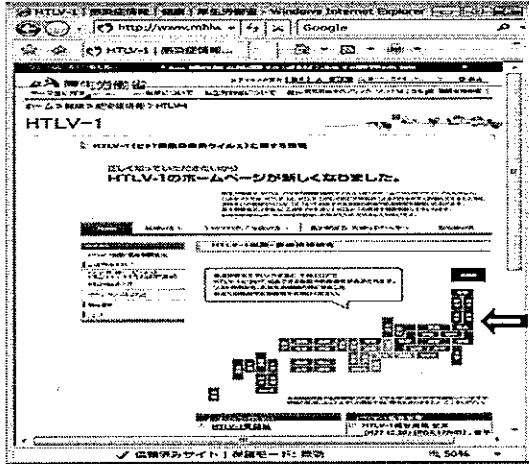
県内相談窓口

○厚生労働省ホームページ

「HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)に関する情報HTLV-1」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou29/>

<相談・医療機関検索>



◆県内の相談窓口◆

○がん相談支援センター

(岩手医科大学附属病院、県立病院8ヶ所)

○難病相談支援センター

○県内9保健所、盛岡市保健所